

JAGUAR

tcs

RACING

2024年7月3日

ジャガーTCSレーシング、フォーミュラE世界選手権シーズン10 第13戦、第14戦ポートランドE-Prix、ミッチ・エバンスが3位表彰台を獲得 チーム・ランキングとドライバーズ・ランキングで首位をキープ



- 第13戦、ミッチ・エバンスがクオリファイセッションでポールポジションとファステストラップを獲得するなど、I-TYPE 6 は驚異的なペースを見せトップでゴールラインを通過したが、レース序盤の接触によって5秒のペナルティが課され8位に降格
- ニック・キャッシュディは、好調な走りでレースをリードしていたが、残り2周でスピンを喫しポイント圏外の19位でフィニッシュ
- 第14戦、ミッチ・エバンスは3位表彰台を獲得し、ドライバーズ・ランキングで2位に浮上
- ニック・キャッシュディは13位とノーポイントだったが、12ポイント差でドライバーズ・ランキングの首位をキープ
- ジャガーTCSレーシングは、残り2戦で33ポイントの差をつけてチーム・ランキングの首位を維持
- 第15戦、第16戦は、2024年7月20日、21日(現地時間)にイギリス・ロンドンで開催

2024年6月29日、30日アメリカ・ポートランド発： ABB FIA フォーミュラE世界選手権シーズン10の第13戦、14戦ポートランドE-Prixに出走し、ジャガーTCSレーシングは第14戦でミッチ・エバンスが3位表彰台を獲得し、ドライバーズ・ランキングで2位に浮上しました。厳しい週末2連戦を終えて、チーム・ランキングでは322ポイントと、2位のタグホイヤー・ポルシェ・フォーミュラEチームに33ポイントの差をつけてトップの座をキープし、ドライバーズ・ランキングでは、ニック・キャッシュディは2戦ともノーポイントとなったが首位の座を守り、ワンツー体制となっています。

JAGUAR



RACING

第 13 戦、ドライバーズ・ランキングをリードしているニック・キャンディは、10 番グリッドからスタートし見事な追い上げをみせて、残り 2 周でトップに立ちます。ターン 10 で痛恨のスピンを喫しポイント圏外となってしまう、その時点で 2 位につけていたポールポジションから出走したミッチ・エバンスが、かわりに先頭に立ちトップチェッカーを受けました。しかし、NEOM マクラレン・フォーミュラ E チームのジェイク・ヒューズとの接触によりレース後に 5 秒のペナルティが課され 8 位へと順位を降格されてしまいました。

第 14 戦、クオリファイセッションではニック・キャンディが 6 位、ミッチ・エバンスが 10 位につけました。決勝レースでは、ジャガー-TCS レーシングの両ドライバーはエネルギーを温存し、レース中盤まで好位置につけていましたが、ニック・キャンディは 13 周目に前方の車両が起こしたアクシデントに巻き込まれフロントウイングを損傷、交換のためにピットインを余儀なくされてしまいます。6 番手を走行していたミッチ・エバンスは 18 周目にセーフティカーが出動し、20 周目にレースが再スタートすると、すぐにアタックモードへと切り替え、一時は 2 位に浮上します。最終的には 3 位となり表彰台を獲得しました。ニック・キャンディは 13 位でこのレースを終えています。

ジャガー-TCS レーシングは、ポートランドでの難しい週末を経てチーム・ランキングにおいて首位の座をキープしています。チームの焦点は、すでに 7 月 20 日と 21 日にロンドンで開催されるシーズン最終戦に向いています。チーム・ランキングにおいてタイトル獲得を目指し、またドライバーズ・ランキングにおいて優勝を目指すニック・キャンディとミッチ・エバンスの両ドライバーを全力でサポートします。

JLR モータースポーツ担当マネージング・ディレクター兼ジャガー-TCS レーシング・チーム・プリンシパルを務めるジェームズ・パークレーのコメント:

「難しい週末でした。苦勞の末にミッチが表彰台を獲得できたのはよかったです。最終的にはもっと上を目指せるポテンシャルがありました。残念なことに、我々のコントロールの及ばないところにも要因があり、うまくはいきませんでした。今はロンドンでのシーズン最終戦に集中しています。私たちはチーム・ランキングで首位をキープしており、ドライバーズ・ランキングでも 1 位と 2 位につけています。すべてはこれからです。ロンドンは私たちにとってホームであり、特別なレースです。地元の観客の前で、ファンや同僚からのたくさんの応援を受けながら、王者になるべく全力を尽くして戦います。」

ジャガー-TCS レーシングドライバー、ミッチ・エバンス (#9) のコメント:

「この週末はトリッキーでフラストレーションの溜まるレースだったし、不運なアクシデントもありましたが、なんとかポイントを獲得できて本当に良かったです。第 14 戦では、もう少し早くトップに立てると思っていましたが、周りがアグレッシブな走行をしていたため、ポジションを失ってしまうリスクもあり、アタックモードに切り替えるのが非常に難しい状況でした。2 回目のアタックモードでは、うまくポジションアップできましたが、残りのエネルギーを使い果たしてしまったため、表彰台を確保するために最後の数周をなんとか乗り切るしかありませんでした。これからロンドンに向かい、チームとしてチャンピオンになることを目指して全力を尽くします。」

ジャガー-TCS レーシングドライバー、ニック・キャンディ (#37) のコメント:

「今日の結果には当然ながら満足していません。戦略は決まっており、とても良いポジションにつけていました。接触があったときは 9 位くらいにいて、フィールドにいる大半のマシンよりもエネルギーの面で優勢でした。週末の 2 レースではポイントを獲得できませんでしたが、ドライバーズ・ランキング

JAGUAR



RACING

ではまだ12ポイントのリードがあります。ロンドンはお気に入りのレースのひとつであり、自分の強みを発揮できると思います。激しい戦いになりますが、自らを鼓舞してがんばります！」

次は2024年7月20日、21日にダブルヘッダーで開催されるABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン10の最終戦、第15戦&16戦、ロンドン E-Prix に挑みます。

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが2024年6月30日、7月1日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00-18:00、土日祝日を除く)

エディターズ・ノート

ジャガーTCSレーシングについて

JAGUAR は2016年10月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。

2023年ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権では、ジャガーTCSレーシングはフォーミュラ E でチーム最大のポイント獲得となる292ポイントを獲得し、準優勝に輝きました。

ミッチ・エバンスは、2023年のドライバーズ・ランキングで、フォーミュラ E における自己最多となる197ポイントを獲得して、ランキング3位でシーズンを締めくくりました。2024年も、チームのために引き続きレースに参戦します。ニック・キャシディは、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権の2024年シーズンからチームのドライバー・ラインアップに加わりました。

2023年シーズンでは、すべてのチームが世界初のネットゼロレースカーであるGen3カーでレースを行いました。ジャガーTCSレーシングは、2024年も「Jaguar I-TYPE 6」でレースに参戦します。

フォーミュラ E は、電動レースカーのコンセプトだけでなく、開催地の選択においてモータースポーツの世界でユニークなシリーズとなっています。2024年のチャンピオンシップは、メキシコシティ、ディルレーヤ、モナコを含む世界の主要都市の中心部にある既存のサーキットや仮設のストリートサーキットで開催され、東京や上海などの新たな会場も追加されます。シーズン最終戦の週末は、ロンドンでダブルヘッダーのレースが開催されます。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、ジャガーTCSレーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。JAGUAR は、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるウィリアムズ・アドバンスド・エンジニアリングを通じてエンヴィジョン・レーシングに「Gen3」のパワートレインを供給しています。



JAGUAR



RACING

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバー (JLR) のフルバッテリー電気自動車 (BEV) のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E 世界選手権への参戦は引き続き、JLR のグローバル戦略「REIMAGINE」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラ E 世界選手権を通して、JAGUAR はハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げる JAGUAR にとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ (Race to Road)、そして市販車からレースへ (Road to Race) と相互に役立てることができます。それこそが JAGUAR が情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

ジャガーTCSレーシングは、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットカーボンレースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。詳細については、<https://media.jaguarracing.com/>をご覧ください。

Tata Consultancy Services (TCS)について

TCS は、55 年以上にわたって数多くの世界最大規模のビジネスをデジタルに変革してきた、IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションを提供する企業です。JLR の長年にわたる戦略的テクニカルパートナーである TCS は、新しいテクノロジーを活用して、レースチームの電動化を促進し、レースで勝利して、より持続可能な未来を構築する活動をサポートしています。TCS はより良い未来の構築に取り組み、サーキットで得たノウハウを活用して、モビリティ・エコシステムを変革しています。タタ・グループの一員である TCS は、世界中に 60 万 3,000 人を超えるコンサルタントを擁しています。

